

19juillet 2008



#100 La centième de Chocolat

第100回記念特別番組。『フランス人への質問』の各賞を発表します！プレゼント授与者から選定理由をフランス語で紹介、レッスンはこのトピックから、フランス語監修の先生が解説します。

☆パーソナリティ

ボブ & ちなみ

☆レッスン

榎本譲 & 田口宏明

☆今週のゲスト

Jérôme Bessière

東京日仏学院

Jean-François Rochard

フランス大使館

Générique et intro

Le 19 juillet 2008, centième numéro de chocolat, magazine bilingue français – japonais.

今回は100回記念番組です。たくさんいただいた「フランス人への質問」の中から各賞ごとに選ばれた方の発表です。そして、フランス大使館の Jean-François Rochard さんと東京日仏学院の Jérôme Bessière さんのお二人にこの質問を選んだ理由をお聞きしています。

賞品は下記の通りです。

1. 東京日仏学院より、東京日仏学院会員12000円相当と、さらに2008年秋2009年冬春夏いずれかの1学期に通学コースの中から1クラス（32000円相当）又は、通信コースの中から1講座（19800円相当）無料でお申し込み。
2. フランス大使館賞より、電子辞書
3. ベルギー大使館より、王室の本
4. フランス語お料理教室cuicuiより、フランス語レシピ教室『入門～初級』クラス8月から12月コース 全5回チケットと『中級～上級』クラス8月から1月コース 全5回チケット
5. 株式会社ホリエンタープライズ キブリング事業部より、BASIC DEFEA 16000円バッグ、（サイズ33 24 16）1個
6. そして、Chocolatからは、iPod ナノ

さらに、特別賞として、日仏貿易株式会社 商品開発マーケティング課マテルネよりマテルネカシス 2個セットを6名様分いただいております。

覚えよう petit à petit♪

en revanche

その反面、それにたいして

absolu

絶対の、完全な、まったくの

exprimer

～（感情）を表す

J'ai l'impression que

～のような気がする

extrêmement

きわめて、非常に

fidèle

忠実な、誠実な

emmener

連れてゆく

tout au long de...

...の間ずっと

âge avancé

高齢

à peu près

ほぼ、だいたい

formulation

表明、明言

compliqué

複雑な

bien sûr

もちろん

d'abord

まず、はじめに

objectif

目標、目的

rentrer

入り込む

atteindre

を達成する、手に入れる

Jérôme Bessière et Jean-François Rochard...

Jérôme Bessière: De l'amour ou de l'amitié, lequel choisissez-vous?

Bob : Est-ce que vous croyez que la réponse à cette question va vraiment être différente entre un Français et un Japonais, entre un... entre une Française et une Japonaise?

Jérôme: Alors, c'est assez difficile à dire. C'est un peu de la sociologie de comptoir. Pour la question de l'amour, je sais pas très bien, je pense que c'est quelque chose de personnel. Pour l'amitié, en revanche, je crois que... je vois, moi, une certaine différence, peut-être pas une différence absolue entre la manière dont les Japonais et les Français expriment l'amitié. J'ai l'impression qu'au Japon, on est extrêmement fidèle en amitié. Je rencontre beaucoup, beaucoup de gens au Japon, qui, lorsqu'ils me parlent de leurs amis, c'est souvent..., ces amis sont souvent des gens qu'ils connaissent depuis très longtemps, depuis leur toute petite enfance, parfois, et qu'ils emmènent avec eux tout au long de leur vie, parfois jusqu'à un âge très avancé. Alors, bien sûr, on peut être fidèle en amitié en France, mais, j'ai l'impression, moi dans le regard que je peux porter sur ces deux sociétés que la fidélité en amitié est quelque chose de très important pour les Japonais. Peut-être un peu moins en France.

Jean-François Rochard: Alors, j'ai choisi la question suivante : qu'est-ce qui vous rend heureux?

Bob: Pourquoi vous avez choisi cette question?

Jean-François: Bah, parce que le thème du bonheur est central. C'est la chose la plus importante : qu'est-ce qui vous rend heureux? C'est une question qui intéresse, je pense, à peu près tout le monde sur la terre. A la fois les Français, les Japonais et puis d'autres pays. Et puis, j'aimais bien dans la formulation de la question, le côté direct, qui s'adresse directement... C'était pas trop compliqué comme question "qu'est-ce qui vous rend heureux?", et qui donc appelle une réponse directe.

Bob : Est-ce que vous avez l'impression que les Français vont répondre différemment des Japonais à cette question?

Jean-François: Ah oui, bien sûr! De toute façon, je pense que, d'abord chaque personne répond différemment à cette question et ensuite chaque culture répond différemment. C'est-à-dire que la culture française ne place pas le bonheur au même endroit et dans les mêmes objectifs que la culture japonaise. C'est évident. Rien qu'à voir, rien qu'à se promener dans ce pays, sans rentrer vraiment dans le détail, ou à se promener en France, on voit bien que les bonheurs sont pas les mêmes. Et que donc, la façon d'atteindre le bonheur sera pas la même.

petite leçon: ぶんぼう一口メモ

1) フランス語の基本

De l'amour ou de l'amitié, lequel choisissez-vous?

愛と友情のどちらをとりますか。

1-1) 性・数によって変化する疑問代名詞

lequel は「どれ」「だれ」という意味ですが、「～の中のどれ」「～の中のだれ」というように、「～の中の」という語句とともに用い、性・数によって変化する疑問代名詞です。上の文では、「愛」と「友情」の中で「どちら」という意味で用いられています。ただし文脈から判断できる場合は「～の中の」という語句が省略される場合もあります。ところで「～の中の」という語句と用いるということは、その語句によって特定化されたものであることです。ですから、これらの疑問代名詞には、**lequel = le + quel** というように定冠詞が含まれています。定冠詞を除けば疑問形容詞 **quel(s), quelle(s)** と形が同じであることがわかるでしょう。(**lequel** には関係代名詞としての用法もあります。それについてはまた機会を改めてとりあげます)

	単数	複数
男性	lequel	lesquels
女性	laquelle	lesquelles

Lequel de ces deux films préfères-tu ? [**lequel < le film** 男性・単数]

この二本の映画の中で君はどちらが好き。

De ces roses lesquelles choisissez-vous ? [**lesquelles < les roses** 女性・複数]

これらのバラの中でどれ(複数)を選びますか。

à, de が先立つときには、「前置詞と定冠詞の縮約」によって次のような形になります。

à	単数	複数		de	単数	複数
男性	auquel	auxquels		男性	duquel	desquels
女性	à laquelle	auxquelles		女性	de laquelle	desquelles

Duquel de ces livres parlez-vous ? [< parler de + lequel (= le livre)]

あなたはこれらの本のうちのどれについて話しているのですか。

Auxquelles de ces filles donnez-vous ces cadeaux ? [< donner à + lesquelles (= les filles)]

この女の娘の中の誰(複数)にプレゼントをあげるのですか。

qu'est-ce qui vous rend heureux?

あなたにとっての幸福とは何ですか(あなたを幸福にするものは何ですか)？

1-2) 性・数によって変化しない疑問代名詞

「だれ」「何」といった疑問代名詞には、性・数によって形が変わらないものもあります。

- 1)「だれが」**Qui** / **Qui est-ce qui ...?**
- 2)「何が」**Qu'est-ce qui ...?**
- 3)「だれを」**Qui** / **Qui est-ce que ...?**
- 4)「何を」**Que** / **Qu'est-ce que ...?**
- 5)「だれ」**Qui**
- 6)「何」**Qu'est-ce que**

1)と2)は疑問代名詞が主語(～は／が)の働きをします。

Qui chante ? = Qui est-ce qui chante ?

だれが歌っているのですか。

Qu'est-ce qui est sur la table ?

何がテーブルの上にありますか。

3)と4)は疑問代名詞が目的語(～を)の働きをします。

Qui cherches-tu ? = Qui est-ce que tu cherches ?

だれをさがしているの。

Que cherches-tu ? = Qu'est-ce que tu cherches ?

何をさがしているの。

5)と6)では疑問代名詞が補語(「AはBです」のB)の働きをします。

Qui êtes-vous ?

あなたはだれですか。

Qu'est-ce que c'est ?

これは何ですか。

Qui, Que のように一語でいう形はなじみやすいのですが、**Qui est-ce qui** とか **Qu'est-ce que** のように **est-ce** を用いる形は覚えにくそうです。でも次の用に考えるとわかりやすいでしょう。

A		B
Qui (人)	est-ce	qui (主語)
Qu' (もの)		que (目的語・補語)

表のようにAで **qui** か **qu' (=que)** を用い、B でやはり **qui** か **que** を用いています。したがって2×2で4通り形ができるわけです。Aでは、疑問文が「人」についてたずねるのならば **Qui** を選び、「もの」についてたずねるのならば **Qu'** を選びます。Bでは、疑問詞が「主語」の働きをする場合 **qui** を用い、「目的語」や「補語」の働きをする場合 **que** を用います。

例えば「だれが明日来るのですか」とたずねる場合、「だれ」と「人」についてたずねていますから、Aからは **Qui** を選び、「だれが」と「主語」の働きをしていますからBからも **qui** を選びます。そうすると **Qui est-ce qui** を使って、**Qui est-ce qui vient demain?** ができます。

2) フランス語のコツ

2-1) 《**rendre** +A(直接目的語 :名詞)+ B(属詞 :形容詞など)(AをBにする)

他動詞 **rendre**は、ふつう「...を返す、もどす、返却する」などを意味しますが、直接目的語(A)の後に状態を表わす形容詞(B)をつけると、「AをB(の状態に)にする」という意味になります。

- **qu'est-ce qui vous rend heureux?** (あなたを幸福にするものは何ですか?)

例) - **Le mari rendra sa femme heureuse.** (夫は妻を幸福にするだろう。)

- **Cette nouvelle l'a rendue triste.** (この知らせは彼女を悲しめた。)

注) ただし、**rendre** の後には動詞はつけられないので、動詞を用いて「～させる」という場合は、ご存じの《使役動詞 **faire**+不定詞》を使います。

例) - **Cette nouvelle l'a fait pleurer.** (この知らせは彼女に涙を流させた。)[なお、使役動詞の過去分詞は不変です。]

2-2) 《**rien qu'à** + 不定詞》(ただ...するだけ)

《**rien que...**》という表現は、後に名詞をつけて「たんに...だけ」(=**seulement**)という意味ですが、動詞をつけて「～するだけ」と言う場合は、《**rien qu'à** + 不定詞》(または《**rien que de** + 不定詞》)となります。

- **Rien qu'à voir, rien qu'à se promener dans ce pays, sans rentrer vraiment dans le détail, ou à se promener en France, on voit bien que les bonheurs (ne) sont pas les mêmes.**

(この国を見たり歩き回るだけで、あるいはフランスを少し旅するだけで、細部を本当には知らなくとも、幸福は同一ではないということがよくわかります。)

例) - **Rien que ça.** ([たった]それだけだよ。)

- **Rien qu'à y penser, j'en ai assez.** (そのことを考えるだけでうんざりだ。)

補足

《**porter le regard sur...**》(...に視線を向ける)

- **j'ai l'impression, moi, dans le regard que je peux porter sur ces deux sociétés, que...**

(これら二つの社会[日本とフランス]にたいする視線を通して、私自身が受けた印象は...)

動詞 **porter**にはさまざまな意味がありますが、**attention**(注意)、**effort**(努力)、**regard**(視線)などの語とともに使うと、「...にたいして」(**sur...**)注意や努力や眼差しなどを「向ける」という意味になります。

幸福の調査

今回「愛と友情のどちらをとりますか」という問いを**Jérôme**さんが、また「あなたにとっての幸福とは何ですか」という問いを**Jean-François**さんが上げているわけですが、愛、友情、幸福、これらはどれもきわめて個人的、主観的なトピックです。愛と友情がともに人間関係を構成するものであり、そうした人間関係が、仕事や健康、財産といったものなどとともに幸福の主要な要素となっている、と考えこともできます。その意味では今回お二人がとりあげたフランス人への問いは、幸福とその構成要素をとりあげたものと捉えることができます。

英国レスター大学 **A.G.White** 氏発表の世界の主観的幸福度(2006年)によると(1)、デンマークをトップにスイス、オーストリア、アイスランドといったヨーロッパ諸国が比較的に幸福度上位を占め、アメリカは23位、フランスは62位でした。我が日本は90位。この結果の要因とされているのは、まず健康で、財産、教育の普及が続いています。幸福といったような主観的なものを指数化する研究にそもそも有効性があるのかどうかといった議論はあるでしょう

が、数値化されていると妙に納得したりもするものです。

Sofres というフランスでトップのマーケティング・世論調査会社によれば(2006年)(2)、フランス人の94%は、自分が幸福だと答え、それは家族、子供、健康のおかげだそうです。足りないものとしては36%がお金と答え、22%が自由な時間がもっとほしいと答えているそうです。

また INSEE (フランス国立統計経済研究所)の資料(2003年)によると(3)、「あなたの人となりをもっとよく示すものは？」《 **qu'est-ce qui permet le mieux de dire qui vous êtes?** 》という質問に、86%のフランス人が家族と答え、仕事(40%)、友人(37%)がそれに続いています。なお、友人をあげたのは若者が多かったようです。

こうしてみると、今回の「愛と友情のどちらをとりますか」と「あなたにとっての幸福とは何ですか」という問いはそのままフランス人のアイデンティティを問うものであるようです。

(1) A Global Projection of Subjective Well-Being,

<http://www.le.ac.uk/users/aw57/world/sample.html>

(2) Mesurer le bonheur,

<http://www.2007-desenjeuxetdesidees.org/blog/index.php/2007/04/24/31>

(3) La famille, pilier des identités,

http://www.insee.fr/fr/ffc/docs_ffc/IP937.pdf